

## 将来

皆さんこんにちは。私はマレーシアから参りました、ザトゥルと申します。今沼津高専の電気電子工学科に在籍しています。今年の五月に日本にきました。今日は将来というタイトルでスピーチいたします。

将来、この言葉を聞くと、私はいつも自分が成功することを想像しますが、ときどき失敗することを想像することもあります。将来何が起こるのかは誰にも予測できません。でも、私たちは将来のことを考えて、計画を立てることができます。私はまだ人生経験が浅いので、自分の将来について考えることはとても難しく大変なことですが、皆さんは、何歳ぐらいのときに初めて将来というものを意識しましたか。私は六歳のときでした。私が六歳のとき幼稚園で先生が私に“将来は何になりたいですか？”と聞きました。その時、私は初めて自分の将来について考えました。でも、当時はまだ子供だったので、将来について真剣に考えることはありませんでした。私には明るくていい将来があって、夢も簡単に実現することができると思っていたので、将来のことは全然心配していませんでした。この頃は本当に楽しかったです。

しかし、年を取るにつれて、自分の将来についての心配がだんだん大きくなってきました。いろいろな人に“将来の計画はもう立てましたか？ 将来は何をしたいですか？”とよく聞かれるようになりました。しかし、私にはまだ答えがわからないので、このような質問をされるたびに言葉が出ませんでした。このような質問をする人々は私が留学しているので、私には明るい将来があると思っています。私にはそのことがとても負担で、そのような質問をされる度に、将来について考えることが怖くなります。でも、母が「心配しすぎないで、あなたの将来は大丈夫だよ」と言ってくれるおかげで、将来について考えることの不安が少し軽くなります。

今、将来に一番不安を感じていることは仕事のことです。私は卒業したら、マレーシアに帰らなければなりません。マレーシアで働きます。でも、最近マレーシアでは大学院を終了した人が増えて、仕事を探すのが大変です。だから仕事が見つからない可能性があります。皆さんはどうですか？ 今将来のことで心配していることがありますか？

私たちは皆良い将来を望んでいるので、将来に不安を感じるのは普通のことだと思います。良い将来は私たちによい生活をもたらしてくれるので、誰にとっても良い将来は非常に大切なことです。私にとって良い将来とは、良い仕事につき、経済的に安定した生活が送れることです。ですから、私は良い将来のために、今から計画を立てなければなりません。今すべきことに最善を尽くさなければなりません。皆さんも、あなたにとっての良い将来に向けて、いろいろなことを準備して、頑張りましょう。これで私のスピーチを終わります。ごせいちょうどうもありがとうございます。